

報道資料

令和2年6月12日（金）
食と農の振興部 畜産課
須原、高田
ダイヤル 0742-27-7448
内線 3882

野生いのししに対するCSF（豚熱） 経口ワクチン散布を開始します

平成30年9月に岐阜県で発生したCSF（豚熱）は、令和2年3月に沖縄で発生したのを最後に、養豚場では確認されていませんが、野生いのししのCSF感染地域は拡大し、三重県、京都府を含む15府県で感染が確認されています。

野生いのししにCSF経口ワクチンを摂取させることで、野生いのししのCSFの感染拡大を防止し、養豚場での感染リスクの軽減を図ることを目的に、6月15日から順次、下記により、経口ワクチンの散布を進めていきます。

記

【ワクチン散布地域】

- | | |
|--------------------|-------|
| ・奈良市（田原、都祁を除く東部地域） | 40箇所 |
| ・宇陀市（室生地区） | 93箇所 |
| ・山添村（全域） | 47箇所 |
| 計 | 180箇所 |

【実施内容】

- ・1k㎡あたり散布箇所を1箇所設定し、約10日間の餌付けの後、ワクチンを散布
- ・1散布箇所（約200㎡）あたり10カ所に経口ワクチンを2個ずつ埋設
- ・経口ワクチンを回収し、いのししによる摂取状況を確認
- ・いのししを捕獲し、抗体検査を実施して、免疫の獲得状況を確認

【実施主体】

- ・奈良県CSF感染拡大防止対策協議会（令和2年4月設立）

【構成員】

- ・奈良県（事務局）・奈良市・宇陀市・山添村・一般社団法人奈良県猟友会
- ・一般社団法人奈良県畜産会・奈良県畜産農業協同組合 養豚事業部

【今後の予定】

- ・ 夏期（8月～9月）、冬期（12月～3月）にも経口ワクチンを散布
- ・ 周辺地域の野生いのししの感染状況を踏まえて散布エリアを拡大

【報道機関へのお願い】

- ・ CSFウイルスが靴底等に付着することにより外部に持ち出され、拡散するおそれがあることから、現地での取材は自粛いただきますよう、お願いします。
- ・ ワクチン散布時等の写真が必要な場合は、申し出ていただければ提供いたします。
- ・ 天候等によって、散布開始日を変更する場合があります。